

平成21年1月23日

平成21年3月期第3四半期末の有価証券評価損に関するお知らせ

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）では、「その他有価証券」に区分されている保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成21年3月期第3四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせします。

なお、四半期会計期間末における有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しているため、平成21年3月期の期末日の時価等により、有価証券評価損の額が変動する場合、もしくは有価証券評価損を計上しない場合があります。

本件につきましては、本日東京証券取引所においても同時に発表しております。

記

1. 平成21年3月期第3四半期末の有価証券評価損について（単体）

(A) 平成21年3月期第3四半期末の有価証券評価損の総額	5,492百万円
(B) 平成20年3月期の純資産の額 (A/B×100)	156,027百万円 (3.5%)
(C) 平成20年3月期の経常利益額 (A/C×100)	17,176百万円 (31.9%)
(D) 平成20年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	10,969百万円 (50.0%)

(注) 平成21年3月期第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）において計上した減損処理による有価証券評価損の額は474百万円であります。

2. 今後の見通し

平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想につきましては、現在集計中であり、確定次第すみやかにお知らせいたします。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
総合企画部 坂本・武川
TEL 048-643-6468